

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（高等学校現代の国語（第一学習社））

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】国語について、その特質を理解し適切に使用できる。
  - 【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
  - 【学びに向かう力、人間性等】言語間感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な語彙知識を獲得し、適切に使用できる	文章を論理的に理解し、捉えて、自分の思いや考えを広げたり深めたり、伝えたりできる。	他者と関わりながら、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			経 典	書	読					
1 学 期	「本当の自分」幻想	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	6
	水の東西	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	ものとことば	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	無彩色の色	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1

2 学期	「文化」としての科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> </ul> 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	8
	現代の「世論操作」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> </ul> 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査				○	○		1
	フェアな競争	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> </ul> 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査				○	○		1
3 学期	不均等な時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> </ul> 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	ロビンソンの人間と自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> </ul> 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査				○	○		1
								合計
								70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

使用教科書：（ ）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】国語について、その特質を理解し適切に使用できる。
  - 【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
  - 【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	読書に親しむ態度を育ませ、言葉を通して社会と関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	児のそら寝	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	7
	検非違使忠明	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	竹取物語	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	12
	徒然草	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
2 学 期	伊勢物語	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	10
	和歌	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	故事成語 漢詩	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	羅生門	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 上記の観点から、テストや提出物、授業への参	○	○	○	9

3 学 期	猿が島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>		加態度などを基に総合的に評価する。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ○ 上記の観点から、テストや提出物、授業への参加態度などを基に総合的に評価する。	○	○	○	11
	定期考査				○	○	1	
								合計

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理・歴史

教科： 地理・歴史 科目： 地理総合 単位数： 2

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合

教科 地理・歴史 の目標：

【知識及び技能】以降の地理・歴史学習の基礎となるよう、地理的知識を身に付け、GIS等に関わる汎用的な地理的技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関係について、持続可能な社会づくりを目指す力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】データや情報を分析した考察を人に伝える能力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
地球規模の自然システムや社会・経済システムに関する理解を深める。調査や地図・統計などの諸資料から、地理に関する情報を、地理情報システムなどを用いて効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を養う。	地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、地域等の枠組みの中で概念を活用して多面的・多角的に考察したり、地に見られる課題を把握し、その解決に向けて想したりするちからを養う。考察・構想したとを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりするを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価
1 学 期	地図と地理情報システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 地球上の位置と時差、地図の役割と種類</li> <li>教材 教科書、地図帳、プリント</li> </ul>	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】
	結びつきを深める現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 現代世界の国家と領域、グローバル化する世界</li> <li>教材 教科書、地図帳、プリント</li> </ul>	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】
	定期考査		
	生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 世界の地形、世界の気候</li> <li>教材 教科書、資料集、プリント</li> </ul>	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】

	定期考査		
2 学 期	生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 世界の言語・宗教と人々の生活</li> <li>・教材 教科書、資料集、プリント</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b>  <b>【思考・判断・表現】</b>  <b>【主体的に学習に取り</b>
	生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 歴史的背景と人々の生活</li> <li>・教材 教科書、資料集、プリント</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b>  <b>【思考・判断・表現】</b>  <b>【主体的に学習に取り</b>
	定期考査		
	生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 世界の産業と人々の生活</li> <li>・教材 教科書、資料集、プリント</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b>  <b>【思考・判断・表現】</b>  <b>【主体的に学習に取り</b>
	地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 環境問題、資源エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市居住問題</li> <li>・教材 教科書、資料集、プリント</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b>  <b>【思考・判断・表現】</b>  <b>【主体的に学習に取り</b>
	定期考査		
	持続可能な地域づくりと私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 自然環境と防災、生活圏の調査と地域の展望</li> <li>・教材 教科書、資料集、プリント</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b>  <b>【思考・判断・表現】</b>  <b>【主体的に学習に取り</b>

3  
学  
期

定期考查

定期考查		

## 2 科目 地理総合

2 単位

)

に付けるとともに、地図や地理情報システム

に関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察

的に考えて取り組める人間を養う。

【学びに向かう力、人間性等】	
互 等 域 構 こ 的 力	地球規模の自然システムや社会・経済システムについて主体的に調べようとして課題を意欲的に追及する態度を養う。より良い社会の実現を視野に地球的・地域的課題を意欲的に追求しようとする態度を養う。

評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 組む態度】	○	○	○	4
1 組む態度】	○	○	○	4
	○	○		1
1 組む態度】	○	○	○	14

	○	○		1
）組む態度】	○	○	○	7
）組む態度】	○	○	○	7
	○	○		1
）組む態度】	○	○	○	7
）組む態度】	○	○	○	7
	○	○		1
）組む態度】	○	○	○	15

	○	○		1
				合計
				70

年間授業計画

都立神代高等学校

令和 **5** 年度 **1** 学年

教科：**地理歴史**

科目：**歴史総合**

教科：地理歴史

科目：歴史総合

対象学年組： 第 1 学年 1 組 ～ 8 組

使用教科書： 『 現代の歴史総合 』（ 山川出版 ）

地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 近現代の日本及び世界における地域的特色や日本と世界の結びつきを理解する。調査や諸資料から、背景や文化の特色を適切かつ効果的に読み取り、まとめる。

【思考力、判断力、表現力等】 近現代の日本及び世界の地理的・歴史的事象について、その特色や相互に関連する意義・概念・文化等を考察し、それをもとに議論・表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 近現代の日本及び世界の歴史について、多面的・多角的な考察から得られた知識を現代の諸課題に結び付け、主体的に解決しようとする。

歴史総合 の目標： 近現代の日本及び世界

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代における日本及び世界の歴史について、広い視野を持って理解する。諸資料から歴史的背景や文化の特色等を適切かつ効果的に読み取り、まとめる。	近現代における日本及び世界の歴史について、その特色や相互に関連する事象を考察し、それをもとに議論・表現する。	近現代における日本及び世界の歴史について、多面的・多角的な考察から得られた知識を現代の諸課題に結び付け、主体的に解決しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	時数
1 学 期	<近現代までの世界及び日本> ヨーロッパの海外進出と東アジアの貿易・江戸時代の日本の対外政策を理解させる。	▽17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ▽東アジア諸国間の貿易 ▽江戸時代の日本の対外政策	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	<市民革命と国民国家の形成> 市民革命と産業革命から近代国民国家が形成された過程を理解させる。	▽産業革命と独立革命 ▽ウィーン体制 ▽世界市場の形成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
	<アジアの変容と日本の近代化> ヨーロッパのアジア進出と日本の近代化について理解させる。	▽アヘン戦争の衝撃 ▽開国と明治維新 ▽新政府の樹立と諸改革	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	<帝国主義の時代> 欧米諸国を中心とする帝国主義の拡大とそこから発生した独立運動を理解させる。	▽帝国主義と世界分割 ▽帝国主義期の欧米社会 ▽条約改正交渉と日清・日露戦争	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
2 学 期	<第一次世界大戦と大衆社会> 国際秩序を変貌させた第一次世界大戦と日本国内における大衆社会の形成を理解させる。	▽第一次世界大戦 ▽ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ▽政党内閣の時代	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	<経済危機と第二次世界大戦> 世界恐慌の発生とファシズムの台頭、第二次世界大戦までの過程を理解させる。	▽世界恐慌とファシズム ▽第二次世界大戦と太平洋戦争 ▽国際連合と戦後世界	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
	<冷戦と第三世界> 東西の冷戦と脱植民地化、日本の高度経済成長までの流れを理解させる。	▽冷戦対立の推移 ▽植民地の独立と第三世界の出現 ▽日本の国際社会復帰と高度経済成長	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	<多極化する世界> 石油危機を中心とする世界経済の動きと冷戦の終結までの過程を理解させる。	▽石油危機と世界経済 ▽緊張緩和から冷戦の終結 ▽日本の経済大国化	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
3 学 期	<グローバル化と現代世界> ベルリンの壁崩壊から冷戦後の新秩序の流れを理解させる。	▽冷戦体制の終結 ▽地域紛争と世界経済	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	<現代的な諸課題の形成と展望> 9.11同時多発テロと地域世界の変動について理解させる。	▽9.11同時多発テロと対テロ戦争 ▽グローバル化のもたらす課題・影響	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】	○	○		1
合計							70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学I

教科：数学 科目：数学I 単位数：3 単位  
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（NEXT 数学I）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理する技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理したりする技能を身につけようとする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や性質について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当時数
式の計算 多項式の加法・減法・乗法、因数分解についての理解を深める。	・指導事項 多項式の加法・減法・乗法、因数分解 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 式の計算の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 式の計算についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の計算の内容を理解しようとしている。	○	○	○	11
実数 実数、根号を含む式の計算、2重根号についての理解を深める。	・指導事項 実数、根号を含む式の計算、2重根号 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 実数の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 実数についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実数の内容を理解しようとしている。	○	○	○	11
1学期 定期考査			○	○		1
集合と命題 集合、命題と条件、命題と証明についての理解を深める。	・指導事項 集合、命題と条件、命題と証明 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 集合と命題の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 集合と命題についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合と命題の内容を理解しようとしている。	○	○	○	6
2次関数とグラフ 関数とグラフ、2次関数のグラフ、グラフの平行移動・対称移動についての理解を深める。	・指導事項 関数とグラフ、2次関数のグラフ、グラフの平行移動・対称移動 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 2次関数とグラフの内容を理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数とグラフについての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数とグラフの内容を理解しようとしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1
2次関数の値の変化 2次関数の最大・最小、2次関数の決定についての理解を深める。	・指導事項 2次関数の最大・最小、2次関数の決定 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 2次関数の値の変化の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数の値の変化についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数の値の変化の内容を理解しようとしている。	○	○	○	12
2次方程式と2次不等式 2次方程式、2次関数のグラフとx軸との位置関係、2次不等式についての理解を深める。	・指導事項 2次方程式、2次関数のグラフとx軸との位置関係、2次不等式 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 2次方程式と2次不等式の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 2次方程式と2次不等式についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次方程式と2次不等式の内容を理解しようとしている。	○	○	○	12
2学期 定期考査			○	○		1
三角比 三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張についての理解を深める。	・指導事項 三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 三角比の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 三角比についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の内容を理解しようとしている。	○	○	○	12
三角形への応用 正弦定理、余弦定理、正弦定理と余弦定理の活用、三角形の面積についての理解を深める。	・指導事項 正弦定理、余弦定理、正弦定理と余弦定理の活用、三角形の面積 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 三角形への応用の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 三角形への応用についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形への応用を理解しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
3学期 データの分析 データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数、分散と標準偏差、2つの変量の間の関係、データの分析を活用した問題解決、仮説検定の考え方についての理解を深める。	・指導事項 データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数、分散と標準偏差、2つの変量の間の関係、データの分析を活用した問題解決、仮説検定の考え方 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 データの分析を理解している。 【思考・判断・表現】 データの分析についての問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの分析の内容を理解しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
						合計
						105



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（高等学校 改訂 生物基礎(第一学習社)）

- 教科 理科 の目標：
- 【知識及び技能】自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的探究のために必要な観察・実験等の技能を身につける
  - 【思考力、判断力、表現力等】科学的に探究する力を身につける
  - 【学びに向かう力、人間性等】科学的に探究する態度を身につける

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、観察・実験などの探究的な活動を通して、生物学的な探究の過程と科学の方法を習得する。	探究活動を行うことによって、生命現象にみられる因果関係を探究・解明する力を身につける。	探究活動を行うことによって、身近な自然や生物に対して興味と関心をもち、探究することの楽しさや喜びを味わうことができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の多様性と共通性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 細胞の構造から、多様性と共通性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分もヒトという生物であり、多様性と共通性にあてはまることに高い関心をもつ。	・「進化」という現象から生物の多様性を、細胞の構造をはじめとして共通性を理解させる。 ・すべての生物が行う「代謝」について理解させる。 ・顕微鏡を用いた観察実験を行い、細胞の構造から共通性および生物種ごとの多様性について考察させる。 ・自らの細胞の一部がどのようにできたかについて主体的に学ばせる。	【知識・技能】 生物の多様性・共通性について正しく理解し、間に答えることができる。 【思考・判断・表現】 観察実験において、正しく観察を行い、知識を活かして考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らのからだは細胞でできていることを意識し、その構造の由来について関心をもってまとめることができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 DNAの構造を理解し、塩基配列に遺伝情報が示されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの構造および塩基配列の規則性から、表される遺伝情報について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らのからだや酵素がタンパク質でできていることを理解し、DNAとタンパク質の関係性について高い関心をもつ。	・DNAが二重らせん構造をとり、ヌクレオチドの結合に規則性があることを理解させる。 ・DNA塩基配列の規則性に基づき、塩基配列と遺伝情報について考察させる。 ・自らのからだはタンパク質でできていることを理解し、遺伝情報によってその性質が決められていることについて主体的に学ばせる。	【知識・技能】 DNAの構造、遺伝情報の発現の仕組みについて正しく理解し、間に答えることができる。 【思考・判断・表現】 DNA塩基配列の規則性に関する知識を活かして、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らのからだはタンパク質でできていることを意識し、遺伝情報によってその構造が決められていることに関心をもってまとめることができる。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 生物の体内環境 【知識及び技能】 生物は、体内の状態を安定に保ち生命を維持する恒常性に基づいて活動していることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 血糖濃度とインスリンのグラフを通して、恒常性を維持するしくみについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らのからだの血液や神経を意識し、その仕組みについて高い関心をもつ。	・恒常性を維持するしくみとしての神経・体液・免疫について理解させる。 ・血糖濃度とインスリンのグラフを読み取り、血糖濃度を調節するしくみについて考察させる。 ・自らの脈拍を測定し、血液が循環する頻度やおよその体積を計算することで、自らのからだを意識して主体的に学ばせる。 ・神経やホルモンおよび免疫の働きについて理解させる。	【知識・技能】 生物が、恒常性に基づいて生命活動していることを正しく理解し、間に答えることができる。 【思考・判断・表現】 血糖濃度とインスリンのグラフから、生命を維持する仕組みについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 脈拍の測定などを通して、自らのからだは恒常性に基づいて生命活動をしていることを意識してまとめることができる。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		2
3 学 期	D 植生の多様性と分布 【知識及び技能】 地球上では様々な植生がみられ、それらは移り変わっていくことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球上でみられるバイオームの特徴を、気温と降水量に基づきまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの住む地域でみられる植生・バイオームについて高い関心をもつ。	・様々な地域で、それぞれ環境に適応した植物が集まって生育しており、それらが外観上の様相から分類されることを理解させる。 ・バイオームは気温と降水量に対応して分布していることを理解させ、それぞれがもつ特徴についてまとめて表現させる。 ・日本におけるバイオームの分布は、主に緯度と標高に対応していることを理解し、自らの住む地域のバイオームについて高い関心をもたせる。	【知識・技能】 地球上の多様な環境に対応して様々な植生が存在し、それらが移り変わっていくことを正しく理解し、間に答えることができる。 【思考・判断・表現】 各バイオームの特徴と気温・降水量との関係性を分かりやすくまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本のバイオームにみられる特徴を理解し、自らの住む地域のバイオームを意識して特徴をまとめることができる。	○	○	○	9
	E 生態系とその保全 【知識及び技能】 生態系がどのように成り立っているかを理解する。	・生物とそれらを取り巻く環境をまとめたものを生態系ということを理解させる。 ・生態系のバランスを表すグラフ	【知識・技能】 生態系がどのように成り立っているかを、生物の役割を含めて正しく理解し、間に答えることができる。				

<p>※</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 生態系のバランスを表すグラフを読み取り、考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らも「ヒト」という生物として、生態系においてどのように他の生物と共存していくかを主体的に考え、意見交換することで多角的な視点を養う。</p>	<p>を読み取り、バランスを保つしくみについて考察させる。 ・生態系内は常に変動しているが、その幅が一定の範囲内で収まる場合はバランスが保たれ、それ以上に大きく変動する場合は元の状態に戻らなくなることを理解し、「ヒト」としてどのように関わっていくべきかについて高い関心をもたせる。</p>	<p>【思考・判断・表現】 生態系のバランスを表すグラフを読み取り、バランスを維持する仕組みを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが生態系の一部である「ヒト」として、他の生物と共存していく方法を主体的に考え、他の生徒との意見交換によって多角的な視点を持つことができる。</p>	○	○	○	9
定期考査				○	○		1
							合計
							70







年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位 2  
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ MOUSA① 教育芸術社 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
		歌	器	創							
1 学期	・曲想と音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法などの技能を身につけて、他者と協働しながらイメージをもって表現を工夫して演奏する。	【ポディーバーカッション】 ・Plymouth Rock	○	○	○	・リズムを正確に捉え、重なりやつながりを意識して演奏している。（技） ・曲想にあった音色や奏法、パフォーマンスの技能を身につけ、表現の工夫をしている。（思・判・表） ・曲の特徴をいかした表現をグループ内で積極的に意見交換して、音楽活動を主体的、協働的に行っている。（主）	○	○	○	8	
	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身につけて、イメージを持って表現を工夫し歌唱する。	【イタリア・カンツォーネ】 ・0 sole mio 【若人の歌】 ・混声四部 無伴奏	○		○	・曲にふさわしい発声や発音、身体の使い方などに気を付けて歌い、表現に必要な技能を身につけている。（技） ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。（知） ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かし、自己のイメージを持って表現の創意工夫をしている。（思・判・表） ・歌唱表現の工夫を考え、主体的に活動を行っている。（主）	○	○	○	8	
	・沖縄の伝統芸能や沖縄三線に親しみ、沖縄の音階を使用したメロディー創作をしよう。	【創作・発表活動】 ・「さまざまな音階」を理解し、沖縄の音階を使用した4小節のメロディーをつくろう	○	○	○	・長音階、短音階、5音音階を学習し、それらの構成音を使用したメロディー創作ができる（技） ・構成音を正しく選び、反復や変化などの手法を用いながら工夫して、楽譜に書くことができ、演奏ができる。（技） ・自分の表現したい音楽をどのように創作するか意図を持ち、創作している。（思・判・表） ・まとまりのある音楽を創作することに興味を持ち、主体的に活動をしている。（主）	○	○	○	4	
2 学期	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法・技能を身につけてイメージを持って表現を工夫し演奏をする。	【クラシックギター】 ・第三の男のテーマ ギター1（メロディー） ギター2（和音伴奏）	○		○	・ギターの音色や響きと奏法の関わりを理解し、創意工夫を生かしギターの演奏に必要な奏法を身につけて表現している。（知・技） ・ギターの音色、旋律を知覚しどのように演奏がふさわしいか思いや意図を持っている（思・判・表） ・ギターの音色や特徴に関心を持ち、音楽活動を主体的・協働的に取り組んでいる（主）	○	○	○	20	
	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身につけてイメージをもって表現を工夫し歌唱する。	【ドイツ歌曲】 ・ich liebe dich	○		○	・曲にふさわしい発声や発音、身体の使い方などに気を付けて歌い、表現に必要な技能を身につけている。（技） ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。（知） ・歌唱表現に関わる知識や技能を生かし、自己のイメージを持って表現の創意工夫をしている。（思・判・表） ・歌唱表現の工夫を考え、主体的に活動を行っている。（主）	○	○	○	12	
3 学期	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法・技能を身につけてイメージを持って表現を工夫し演奏をする。	【クラシック・フォークギター】 ・日曜日よりの使者	○	○	○	・奏法の関わりを理解し、創意工夫を生かしギターの演奏に必要な奏法を身につけて表現している。（知・技） ・ギターの音色、旋律を知覚しどのように演奏がふさわしいか思いや意図を持っている（思・判・表） ・ギターの音色や特徴に関心を持ち、音楽活動を主体的・協働的に取り組んでいる（主）	○	○	○	10	
	・表現を工夫してリコーダーを演奏しよう。	【アルトリコーダー】 ・海の見える街 ・虹の彼方に		○	○	・正しい運指とアーティキュレーションと奏法の関わりを理解し、創意工夫を生かしたリコーダーの演奏に必要な奏法を身につけて表現している。（知・技） ・リコーダーの音色、旋律を知覚しどのように演奏がふさわしいか思いや意図を持っている（思・判・表） ・リコーダーの音色や特徴に関心を持ち、音楽活動を主体的・協働的に取り組んでいる（主）	○	○	○	8	
										合計	70



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（教育図書 書 I ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書は歴史や文化と不即不離で発達したグローバルな芸術である。この独特の世界における歴史文化的芸術知識を並行して学ぶ。毛筆という特殊で高度な筆記具の使用技術や東洋独特の美意識や情懐を高める。書の表現方法や形式等について理解し、効果的に表現する技能を身に付ける。	一人ひとりの個性と能力を最大限発揮しながら、言語と文字に関する知識を働かせ、多様な文字表現、特に毛筆表現の向上に努め、生活や社会の中で学んだ書の文化を生かせるようにする。また世界的な視野に立ち、東洋的、日本の民族文化を理解する。	日本的な言葉と文字の世界に理解を深め、その文化芸術に誇りを見出したい。また、書表現の魅力を感じ、書を愛好する心情を育成したい。道具の整備や手入れをしっかりとすることなどを心掛ける姿勢を養いたい。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		漢 仮	漢	仮							
1 学 期	オリエンテーション 書へのいざない 鑑賞へのいざない 書道道具の確認。	基本点画の学習	○		○	書についての関心度が深まったか。道具の準備ができたか。	○	○	○	4	
	楷書体の学習 有名古典を通じ、歴史や文化的側面と書表現との連絡について学ぶ。礼教書として発達した古代漢字書道が、現代人の心をも打ち続ける事について考える。これが毛筆の発達と不即不離の関係にあることを体験する（以下全項目についてこの指針に倣	孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘	○		○	古典名や作者・時代を覚えたか。毛筆表現にどんな工夫をしたか。	○	○	○	8	
	楷書体 生活の中の書	雁塔聖教序 曩中見舞いについて調べる。	○	○	○	毛筆の扱いを工夫したか。楷書体の正確な表現ができたか。	○	○	○	8	
	生活の中の書	曩中見舞いはがきを書いて出す。	○		○	毛筆表現を生活の中で生かすことができたか。	○	○	○	4	
2 学 期	行書体の学習	蘭亭序	○		○	古典名や作者・時代を覚えたか。柔らかい流れのある運筆ができたか。毛筆表現にどんな工夫をしたか。	○	○	○	6	
	行書体の学習	蘭亭序を半切に書く	○		○	毛筆の扱いを工夫したか。行書体の特徴を掴むことができたか。	○	○	○	8	
	篆書および隷書 生活の中の書	年賀状について調べる	○	○	○	現在みられる最古の漢字について理解できたか。篆書から隷書への流れについて知ることができたか。	○	○	○	6	
	生活の中の書	年賀状を書いて出す。	○		○	毛筆表現を生活の中で生かすことができたか。	○	○	○	4	
3 学 期	仮名の学習	仮名単体および連綿の学習			○	仮名の基本用筆が習得できたか。仮名の歴史、日本文化上の意義が理解できたか。	○	○	○	6	
	仮名の学習	高野切、寸松庵色紙、継色紙等の臨書及び鑑賞 料紙に書く			○	仮名の書の特徴である連綿と散らしを理解し、それぞれの古筆のリズムを掴むことができたか。古筆を鑑賞することにより、筆者の個性や美意識を感じることができたか。	○	○	○	2	
										合計	56

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

外国語

科目

英語コミュニケーションI

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーションI

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ LANDMARK English Communication I ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションI

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	言	読	書					
LANDMARK Lesson 2 Curry Travels around the World	・指導事項 現在完了形・分詞を含んだ文章 リプロダクション ・教材 教科書・プリント		○			○	【知識及び技能】 現在完了形・分詞を含んだ文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を選び出し書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報をまとめ、適切に書いて表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	8
英文文にチャレンジ “Do you think libraries should have more book events for children?” (仮)	・指導事項 発音・イントネーション・伝え方 ・教材 プリント ・一人1台端末 PCスライド					○	【知識及び技能】 用意された文章を基本的な発音やイントネーションを用いて発表できる 【思考力、判断力、表現力等】 用意された文章を聞き手を意識して発表できる素地を身につける 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	5
1 学期 Focus on Listening Lesson 1～4	・指導事項 写真内容選択・説明文・グラフ・対話	○					【知識及び技能】 写真・説明文などについて概要を聞き取ることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し	○	○	○	2
定期考査		○	○			○		○	○	1	

	LANDMARK Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima	・指導事項 受動態・関係詞を含んだ文章 リプロダクション インタビューテスト ・教材 教科書・プリント					【知識及び技能】 受動態・関係詞を含んだ文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を選び出し書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報をまとめ、適切に書いて表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し					11
	Focus on Listening Lesson 5～8	・指導事項 対話文・表の聞き取り・説明文					【知識及び技能】 対話文や表についての説明文などについて概要を聞き取ることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し					2
	定期考査											1
2 学 期	Lesson 5 Bailey the Facility Dog	・指導事項 過去完了・使役表現を含む文 リプロダクション ・教材 教科書・プリント					【知識及び技能】 過去完了・使役表現を含んだ文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を選び出し書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報をまとめ、適切に書いて表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し					8
	英作文にチャレンジ “Do you think it is good for people to use smartphones while stying?”	・指導事項 発音・イントネーション・伝え方 ・教材 プリント ・一人1台端末 PCスライド					【知識及び技能】 自分のことについて基本的な語句や文を使って論理的に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 聞き手を意識して自分自身でまとめた情報を伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し					6
	Focus on Listening Lesson 9～12	・指導事項 対話文・写真内容選択・説明文					【知識及び技能】 対話文や写真などについて概要を聞き取ることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し					2
	定期考査											1
	Lesson 6 Communication without words	・指導事項 接続詞、不定詞、特殊構文を含む文 構文解釈 ・教材 教科書・プリント					【知識及び技能】 接続詞、特殊構文などを含む文を読み概要を読み取ることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し					8
Focus on Listening Lesson 13～16	・指導事項 説明文・続く応答					【知識及び技能】 説明文などの概要を聞き取ることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し					2	
定期考査											1	
3 学 期	Lesson 7 Dear World;Bana's War	・指導事項 関係代名詞・関係副詞を含む文 構文解釈・要約 ・教材 教科書・プリント					【知識及び技能】 関係詞を含む文を読み概要をとらえ、まとめることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み取った情報を論理的にまとめて書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し					10
	検定・入試対策	・指導事項 共通テスト問題・GTEC・英検2					【知識及び技能】 基本的な語句や文を読み取り、正答を選ぶ					

期		縦問 題 ・教材 プリント	○	○			ことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し	○	○	○	3
	Focus on Listening Lesson 17～20	・指導事項 グラフ選択・地図選択・説明文	○				【知識及び技能】 グラフや地図について概要を聞き取ることが できる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習し ようとしている	○	○	○	2
	定期考査		○	○		○		○	○		1

合 計
74

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科：外国語

科目：論理・表現Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：be English Logic and ExpressionⅠ Smart

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語

【思考力、判断力、表現力等】で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

外国語の背景にある文に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 論理・表現Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	議	書	書					
Vision Quest Lesson 1 紹介 Lesson 2 学校生活	・指導事項 文の種類・文型 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末			○	○	○	【知識及び技能】 文の種類・文型・時制が理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	7
作文課題 「休日にしたことについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム				○	○	【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	1
1 定期考査						○		○	○		1
Vision Quest Lesson 3 旅行・観光 Lesson 4 趣味・関心	・指導事項 時制・完了形 ・教材 教科書・プリント ・一人1台端末			○	○	○	【知識及び技能】 完了形・助動詞を理解し書くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	8
作文課題 「何かを初めて経験した時のことについて」	・指導事項 語彙・文法・構文 ・教材 プリント ・一人1台端末 オンライン添削システム				○	○	【知識及び技能】 情報を適切に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識しながら、伝える内容を整理し伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループを通じて、主体的に学習しようとしている	○	○	○	1
定期考査						○		○	○		1



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 情報 I 図解と実習（情 I 711・712） ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 ・情報とデータの違いについて理解する ・情報の特性について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の特性を観点に分けて思考できる ・具体的な特性を理由を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報の特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる	・指導事項 情報の特性を考えてみよう ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 情報とデータの違いを調べる	【知識・技能】 ・情報とデータの違いについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報の特性を観点に分けて考えることができる。 ・具体的な特性を理由とともに説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	○	○	○	8
B 単元 【知識及び技能】 ・メディアの3つの特性とそれぞれのメリット・デメリットについて理解している。 ・メディアが人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や状況に応じて、適切なメディアを選択することができる。 ・理由とともにメディアの捉え方を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・メディアの特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる	・指導事項 メディアの特性を考えてみよう ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 メディアのメリット・デメリットを調べる	【知識・技能】 ・メディアの3つの特性とそれぞれのメリット・デメリットについて理解している。 ・メディアが人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、適切なメディアを選択することができる。 ・理由とともにメディアの捉え方を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアの特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
1 学期 C 単元 【知識及び技能】 ・問題を発見する技能を身につけている。 ・問題解決の一連の流れにおいて、それぞれの過程で必要になることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や状況に応じて、問題を発見・解決する方法について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題の発見・解決について主体的に取り組もうとしている。 ・解決する過程や解決案を改善しようとしている。	・指導事項 問題解決の考え方を身につけよう ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 問題解決を整理する	【知識・技能】 ・問題を発見する技能を身につけている。 ・問題解決の一連の流れにおいて、それぞれの過程で必要になることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、問題を発見・解決する方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題の発見・解決について主体的に取り組もうとしている。 ・解決する過程や解決案を改善しようとしている。	○	○	○	8
D 単元 【知識及び技能】 ・情報社会における著作権侵害について理解している。 ・情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。 ・情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 ・情報モラルに配慮し情報社会に主体的に参画しようとしている。	・指導事項 著作権について考えよう ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 著作権を調べる	【知識・技能】 ・情報社会における著作権侵害について理解している。 ・情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。 ・情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 ・情報モラルに配慮し情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1



2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 ・コミュニケーションの手段の発達について理解している。 ・メディアの発達により生じる課題の原因を理解している。 ・メディア・リテラシーの必要性について理解している。 ・情報の特性について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・メディアが発達したことにより、便利になったことと課題について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・メディアの種類を振り返り、自らの学習を調整しようとしている。 ・メディアが発達したことにより生じた課題について、主体的に考えようとしている。	・指導事項 コミュニケーションとメディアの活用 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 メディアについてを調べる	【知識・技能】 ・コミュニケーションの手段の発達について理解している。 ・メディアの発達により生じる課題の原因を理解している。 ・メディア・リテラシーの必要性について理解している。 ・情報の特性について理解する 【思考・判断・表現】 ・メディアが発達したことにより、便利になったことと課題について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアの種類を振り返り、自らの学習を調整しようとしている。 ・メディアが発達したことにより生じた課題について、主体的に考えようとしている。	○	○	○	8
	F 単元 【知識及び技能】 ・アナログとデジタルの違いについて理解している。 ・2進法・10進法・16進法の相互変換について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アナログとデジタルのデータを扱う身近なものを積極的に探し、理解を深めようとしている。	・指導事項 コンピュータとデジタルデータ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 問題解決を整理する	【知識・技能】 ・アナログとデジタルの違いについて理解している。 ・2進法・10進法・16進法の相互変換について理解している。 【思考・判断・表現】 ・アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アナログとデジタルのデータを扱う身近なものを積極的に探し、理解を深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	G 単元 【知識及び技能】 ・情報デザインの意味について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アートと情報デザインの違いを考えることができる。 ・情報デザインの考えをもとに、伝えたい情報を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報デザインの中で問題解決に取り組もうとしている。	・指導事項 情報デザイン ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 情報デザインを調べる	【知識・技能】 ・情報デザインの意味について理解している。 【思考・判断・表現】 ・アートと情報デザインの違いを考えることができる。 ・情報デザインの考えをもとに、伝えたい情報を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報デザインの中で問題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	H 単元 【知識及び技能】 ・コンピュータの構成要素やデータの制御、データの流れを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れを表現し、説明することができる。 ・ハードウェアの3つの要素がどのような働きをするか説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動や、インタフェースを確認する活動に積極的に取り組もうとしている。	・指導事項 コンピュータのしくみ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 コンピュータの基本的構成を調べる	【知識・技能】 ・コンピュータの構成要素やデータの制御、データの流れを理解している。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れを表現し、説明することができる。 ・ハードウェアの3つの要素がどのような働きをするか説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動や、インタフェースを確認する活動に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	

<p>I 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器どうしを情報通信ネットワークで接続するしくみを理解している。</li> <li>・情報通信ネットワークを構成する要素とその役割を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける構成要素を選択することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークに興味を持ち、主体的に活用しようとしている。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>情報通信ネットワークのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> </ul> <p>教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul> <p>データ伝送のしくみを調べる</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器どうしを情報通信ネットワークで接続するしくみを理解している。</li> <li>・情報通信ネットワークを構成する要素とその役割を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける構成要素を選択することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークに興味を持ち、主体的に活用しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
<p>3 学期</p> <p>J 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析の手順について理解している。</li> <li>・データの収集についてさまざまな方法があることを理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収集方法によるメリット、デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。</li> <li>・データ分析に必要なオープンデータをインターネットから取得し、データ分析が行いやすいようデータの整理ができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> </ul> <p>教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul> <p>数値データやテキストデータの分析方法を調べる</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析の手順について理解している。</li> <li>・データの収集についてさまざまな方法があることを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収集方法によるメリット、デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。</li> <li>・データ分析に必要なオープンデータをインターネットから取得し、データ分析が行いやすいようデータの整理ができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会 科目：人間と社会 単位数：1 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（人間と社会（東京都教育委員会著作準教科書））

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】主体的な自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】考察したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う

【学びに向かう力、人間性等】社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的な自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける	考察したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う	社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	事前学習活動 ・「人間と社会」の学習のねらいと授業の進め方についての説明	総合的な探究の時間事前指導 オリエンテーション 人間と社会について	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	1
	教科書単元「役割と責任を考える」 ・導入（説明） ・探究活動を通じて単元の内容に関する自分の基本的考え方をまとめる。（ペアワーク・グループ活動） ・意見の異なる生徒同士の話し合いから、自己の価値観を高める。（ペアワーク・グループ活動） ・諸場面を想定し、探究活動を通じて選択・行動に関する能力の育成を図り、これからの自分の生き方を考える。（ペアワーク・グループ活動） 事前学習活動①・体験活動分野別希望調査の実施・体験活動内容の決定	支え合う社会に関する学習	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	3
	定期考査						
	事前学習指導② ・活動直前の心構え、意識の高揚 ・活動報告書の書き方指導 活動別体験学習①および② （▲により合計15時間になるように体験活動を実施する）	役割と責任を考えるに関する学習 体験活動に関する指導 活動先等との打ち合わせ	体験活動報告書等の課題により評価する。	○	○	○	2
	体験活動① 高齢者関係・障害者関係・幼児関係・児童関係・福祉関係・病院等 体験活動② 環境保全関係・地域関係等 定期考査	体験活動① 体験活動②	体験活動報告書等の課題により評価する。	○	○	○	12
2 学期	体験活動の事後指導① ・活動報告書の作成 ・活動先へのお礼状の作成 体験活動の事後指導② ・体験活動自己評価を行う。 ・体験活動をまとめた感想文の作成	活動状況の把握 体験活動感想文の作成	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	3
	教科書単元「マナーと社会のルールについて考える」 ・導入（説明） ・探究活動を通じて単元の内容に関する自分の基本的考え方をまとめる。（ペアワーク・グループ活動）	マナーとルールに関する学習	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	3
	・意見の異なる生徒同士の話し合いから、自己の価値観を高める。（ペアワーク・グループ活動） ・諸場面を想定し、探究活動を通じて選択・行動に関する能力の育成を図り、これからの自分の生き方を考える。（ペアワーク・グループ活動）	マナーとルールに関する学習	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。	○	○	○	3
3 学期	教科書単元「ネット時代」 ・導入（説明） ・探究活動を通じて単元の内容に関する自分の基本的考え方をまとめる。（ペアワーク・グループ活動） ・意見の異なる生徒同士の話し合いから、自己の価値観を高める。（ペアワーク・グループ活動） ・諸場面を想定し、選択・行動に関する能力の育成を図り、これからの自分の生き方を考える。（ペアワーク・グループ活動）	ネット時代の利用に関する学習	授業後の課題（要約、感想、参加態度の自己評価）により評価する。				4
				○	○	○	合計 31